

反復と夜

蓮中
みつ

これは夜の手紙です
心の中の手紙です

悪口をひとつ
ふたつみつ

重ねて誰かに話しては
すっきりした気持ちでいた
さっぱりした気分になっていた
なったつもりでいた

私はこんなに苦勞したの
とつても苦しめられたの
可哀想だったの、私は
あの人のせいで
全部あの人が悪いの

気持ちが軽くなるのは吐き出した直後だけで
一人で眠る時
重さや苦しさが戻ってくる

これは夜の手紙です
心の中の手紙です

悪口をよっつ

いつつむつつ重ねては

上書き出来る気がしていたのかも

黒く塗りつぶして悪いものにしてしまえば

つらいとかさみしいとか思わずに済むんじゃないかと

しあわせだった、と

過去形で振り返らずに済むんじゃないかと

多分どこかで思ってたんだ

これは夜の手紙です

心の中の手紙です

悪口をななつ

やっつここのつ

思い浮かべて虚しくなる

本当に話したかったのは目の前の他人

じゃなくて

あなただから

分かりあいたかったのだから

あなたの聴く曲と

あなたの食べるラーメンと

あなたの選ぶジーンズと

あなたの声と

あなたと

もつとずっとそばにいたかったんだ

あなたと手を繋ぎあっていたかったんだ

これは夜の手紙です

心の中の手紙です

悪口はとおを数えない

あんなに不満があったはずなのに

考えてももう浮かばない

なんでうまくいかなかったんだろうね

問いかけても答える人はなし

あちらこちらに重ねて放った悪口は消えないけれど

心の中で手紙を書きます

それが夜の手紙です

心の中の手紙です

お元気ですか

ちゃんと歯を磨いていますか

夜更かししていませんか

靴を綺麗に磨いていますか

洗濯物を溜め込んでいませんか

ゴミの分別はできていますか

お酒、飲み過ぎていませんか

お仕事はいかがですか

恋人はできましたか

私は

あなたの聴いていた曲を口ずさみ

あなたが好んでいたラーメンを時々食べて

あなたが気に入っていたジーンズをたまたに店先で眺めて

あなたの声をふと思い出しながら

虫菌ひとつなく

夜更かしは控えて

靴の手入れを欠かさず

洗濯物はすぐに片づけて

ゴミの分別に気を遣い

お酒は相変わらず飲まず

仕事にはちよつと不満を持ちつつも

元気にやっています

恋人はまだいません

これは夜の手紙です

心の中の手紙です

朝が来たら消えてゆきます

だからあなたに届くことはないでしょう

蓮中 みつ

岐阜県出身